

# きらりCG マニュアル

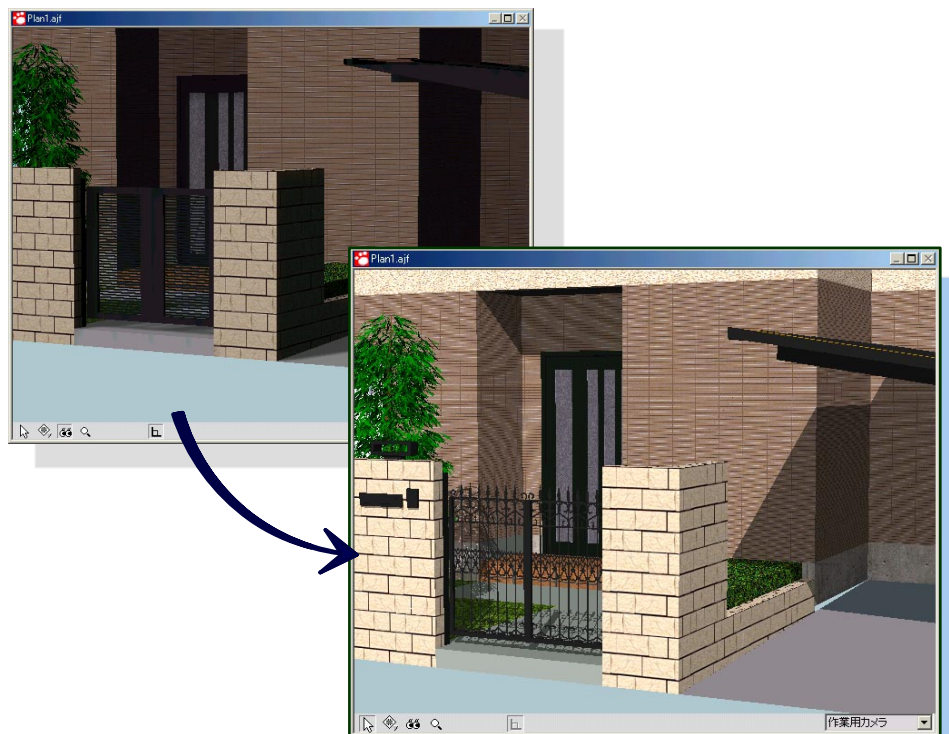
～ Forアーレンダーゼロ ～

《 応用編 》

## 応用編項目

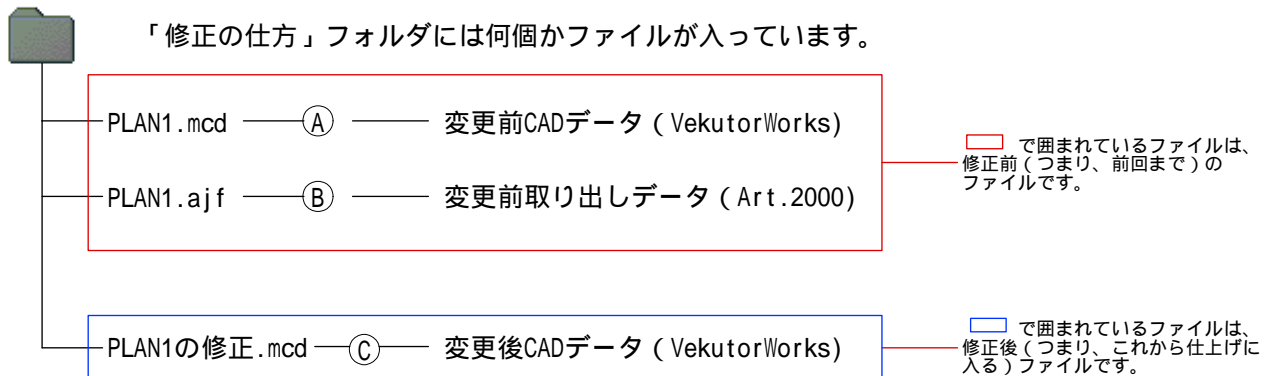
### データの修正（変更等）をしてみよう！

一度アーレンダーゼロで、視点・光源・テクスチャ設定が終わった後、プランに変更が生じた場合の操作手順になります。



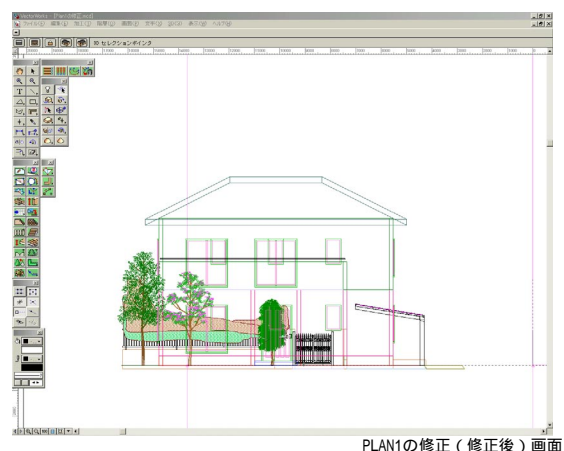
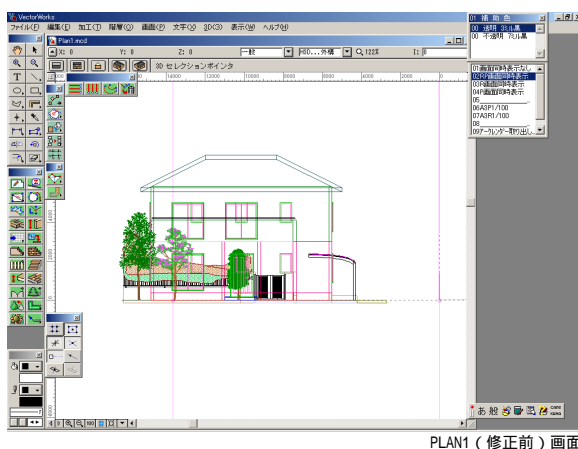
## ■ 練習用ファイルの内容確認

- ・アークレンダーゼロの中では、オブジェクトを移動したり削除したりという編集作業が可能です。例えば「門灯だけ消したい」とか「樹木を全部消す」などの作業は、アークレンダーゼロ内だけで出来ますが、消した情報はCADへは反映されません（取り出せません）。
- ・ここでは、1度、テクスチャ設定、光源設定、視点設定等、一連の仕上げ作業を終えた後、外構プランに一部修正が入ったと想定し作業を進めていきます。



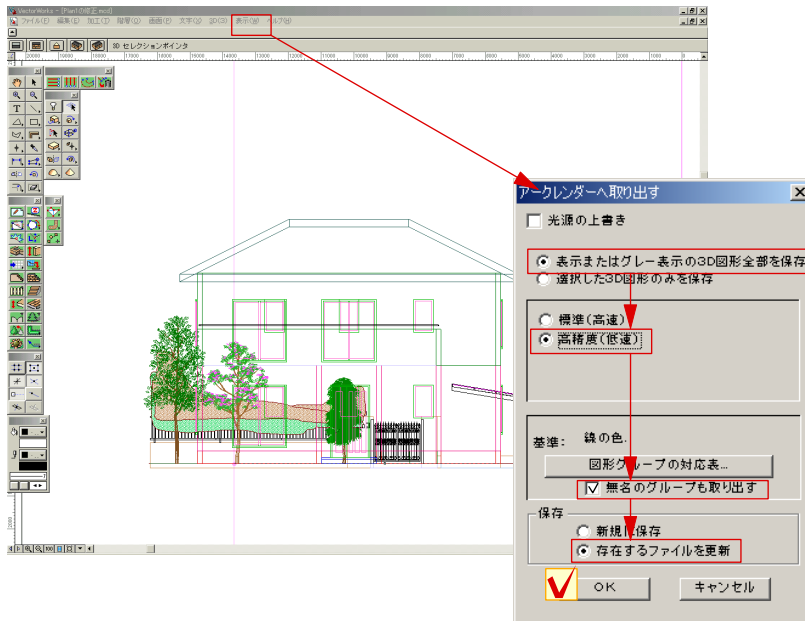
- ・この物件は次の流れのように作成されていると考えてみてください。。

- イ) PLAN1という外構図がVectorWorks上で作成されました。 ( Ⓐ )
- ロ) アークレンダーゼロを起動し、このデータの視点、光源、テクスチャの設定をして、一度保存しました。 ( Ⓑ )
- ハ) その後、門扉とカーポートの製品が変更になりました。A のVWデータを開き製品の入れ替えをしました。それを「PLAN1修正」という名前で保存しました。 ( Ⓒ )



変更がされていることを確認できましたでしょうか？

では、練習に入っていきます。



■ 修正分のCADデータをopt.dbへ取り出します。

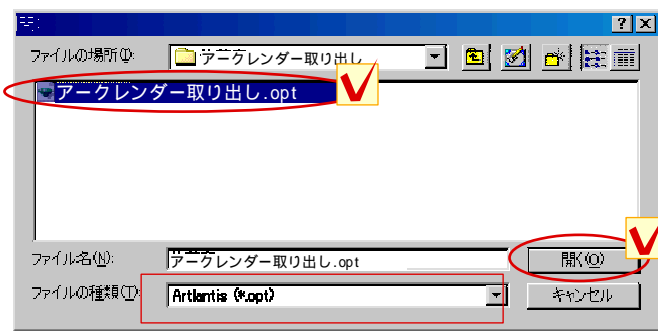
- 1) VectorWorksを起動します。  
「PLAN1修正.mcd」を開きます。

このデータはすぐに取り出し出来る状態に準備しています。

- 2) 「3D」メニュー「アーケレンダー」  
「取り出す」。  
取り出し設定は左記に表示してある  
「アーケレンダー取り出し」を参照  
してください。

大型物件やデータの重たいファイルを取り出すと、どうしても取り出しに時間がかかってしまいます。少しでもかかる時間を軽減したい時などは、設定内の「高精度(低速)」を「標準(高速)」に切り替えるといいでしょう。

- 3) 取り出し先(更新するファイル)を  
「アーケレンダー取り出し.opt」を  
指定して取り出しをします。



既存ファイルに取り出そうとしてもフォルダ内のようにファイルが存在しないことがあります。そのような時は、の箇所を確認してください。  
「Art-lantis(\*.opt)」以外になっているとファイルは、隠れていて見えてません。

ファイル形式に注意!

これで、「アーケレンダー取り出し」に  
門扉とカーポートの修正後のデータが  
上書きされました。

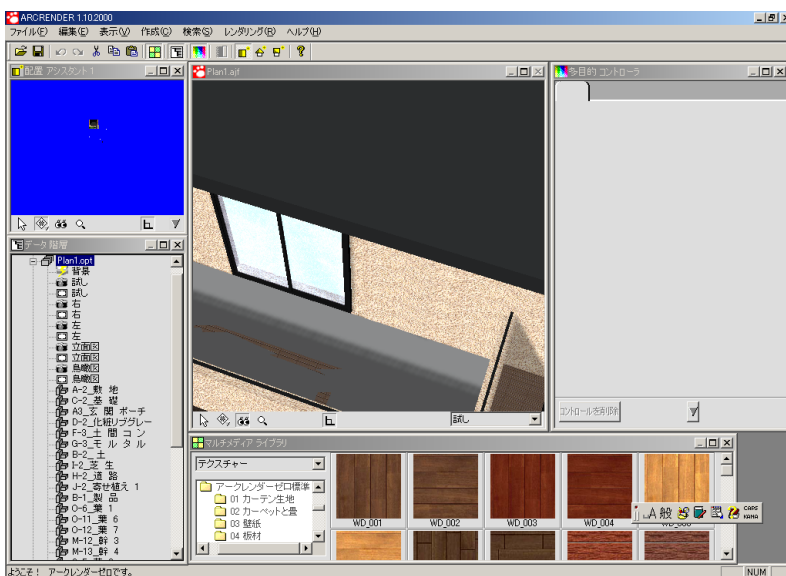
この「PLAN1」ファイルは  
とりあえず、ここまでです。

■ 修正前のデータを開く。

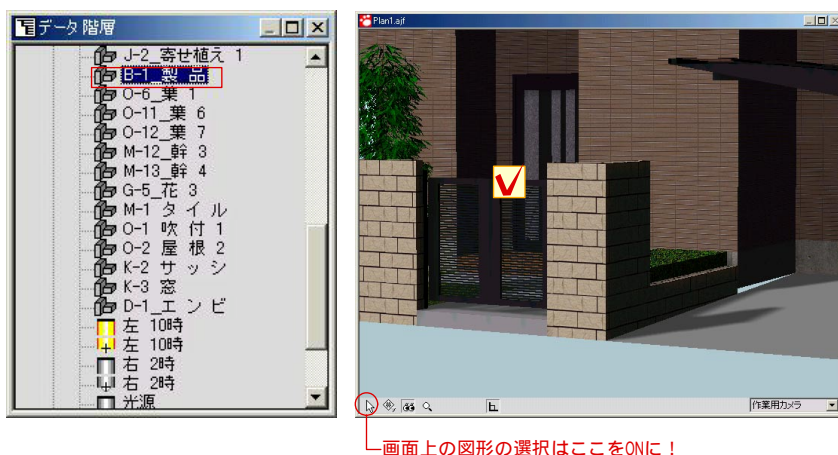
- 1) アークレンダーゼロを起動します。

- 2) 「ファイル」「開く」で  
「修正の仕方」フォルダ「PLAN1.ajf」  
を開いてください。

左の画面が開かれます。



■ 変更部分のデータを削除する。



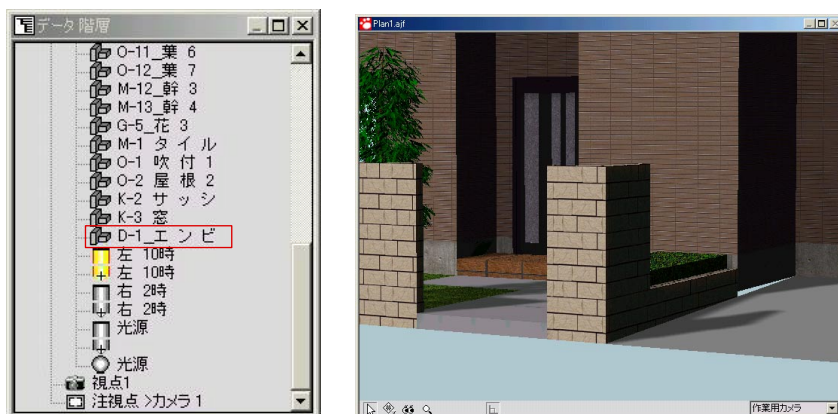
・今回は、門扉とカーポートが変更になったので、「アーレンダー」上で、その図形を削除します。

・ワークビュー内で指示

ワークビューの中で、門扉をクリックしてみてください。

・階層パレットで確認

「ワークビュー」内で、指示されたものが「階層パレット」で、B-1\_製品の箇所のように青く反転します。



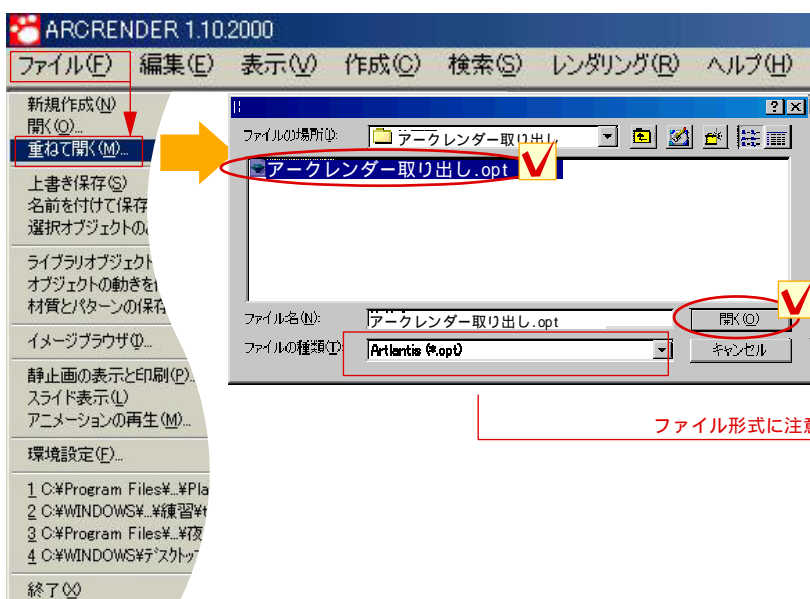
・削除する

製品が選択された状態で「Delete」（キーボード上）を押すと門扉が消えます。

「ワークビュー」「データ階層」で消去されていることを確認して下さい。

・続いてワークビュー内に残っているカーポートに使用しているポリカーボネートを削除します。左記の D1\_エンピ の箇所を「Delete」して下さい。

! ここでは、「B1\_製品」、「D1\_エンピ」を削除しました。削除した項目を覚えておくと、後の操作手順で役立ちます。



■ データを重ねて開く

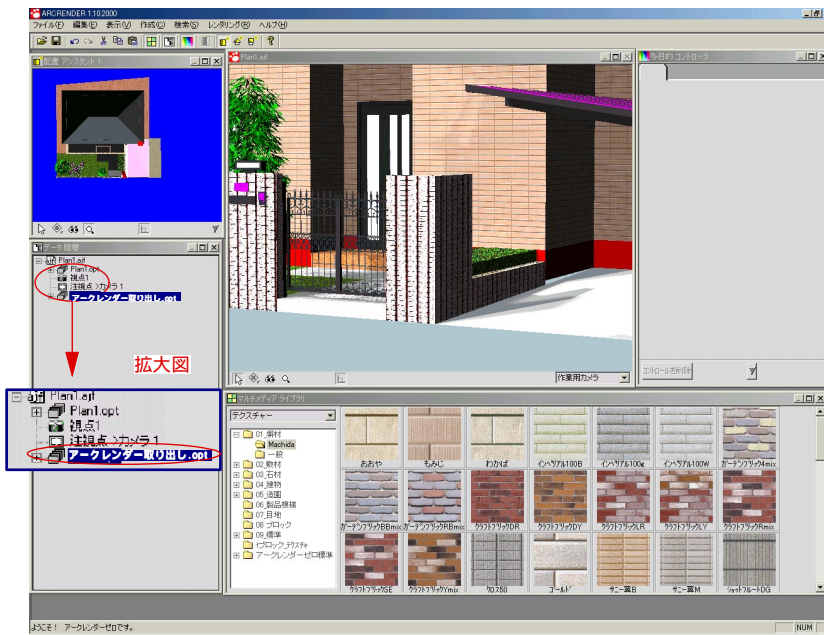
・先程取り出したデータをこのデータに重ねて開きます。

「ファイル」「重ねて開く」を選択します。

・「アーレンダー-取り出し」フォルダから「アーレンダー-取り出し.opt」を開きます。

ファイル形式 = Art-lantis (\*opt)

ファイル形式に注意!

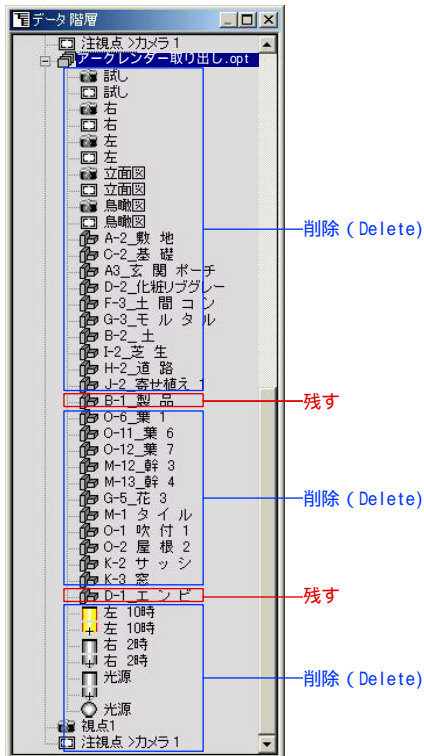


- ・消したはずの製品が「ワークビュー」内に、現れます。
- ・「データ階層」パレットの確認  
パレットの下の方に「アーレンダー取り出し.opt」という項目が追加されてきます。左記 ○ の箇所です。

・左記の画面は、PLAN1が重なって開いている状態です。そのため、重複データが存在していることになります。

・重複は、データの量が多くなります。このままにしておく事は望ましくありません。

■ 重複データを削除する。

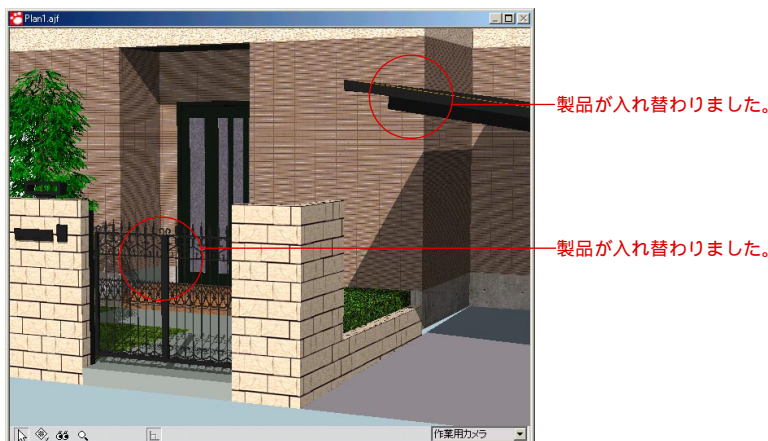


- ・今回重ねて開いたデータの中で必要な門扉とカーポートの情報です。それ以外の図形には、既にテクスチャ設定がされています。(重ねて開いたものには、まだ何もテクスチャ設定されていません。)

既存のデータを残し、後から重ねた図形を必要なもの以外は、消していきます。

- ・左記のように □ で囲まれた箇所は、「重複データ」となりますから削除します。

・複数の選択をする場合「shift」を押しながら選択すると一度に多数のデータを削除することができます。



前ページの「変更部分のデータを削除する」の中で削除されたものが今回は残しておくものになります。覚えておくと今回残すものがわかりやすいです。

- ・左記のような画面になりましたか？  
これで本項目「データを修正してみよう！」は、終了です。